

(別添資料 1)

事業所名

就業支援専門 ていーせる

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

1 月

30 日

法人（事業所）理念		みんな幸せ												
支援方針		ていーせるに入ったことによって何か小さなことでもしたかったことができるようになって欲しい。 話しかけることが苦手なお子様が自分から話しかけることができるように。 あいさつが出来なかったお子様が自分からあいさつができるように。 時間を守れないお子様が時間を意識して行動ができるように。 ありがとうが言えないお子様が感謝を口にできるように。 そのためには、習慣づけや継続した活動、真摯に向き合うことが大切だと考えております。 お子様を指導してお子様が成長することは勿論のこと、 我々指導員や親御様、関わる全ての方が成長できる場にすることが目標です。												
営業時間		平日	10	時	0	分	19	時	0	分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		休日	9		0		18		0					
		支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	毎利用時に心身の把握・気分把握・身だしなみの確認を行います。その都度必要に応じ保護者へ共有を行います。 お子様に合わせた支援を実施し、習慣化出来るように支援していきます。 身体的、精神的、社会的訓練を行います。												
	運動・感覚	学習や作業・運動支援を通じて姿勢保持・指先トレーニング・上肢・下肢の運動・動作の改善を行います。 支援終了前にラジオ体操や軽い運動を行い、習慣化と動作の改善を行います。												
	認知・行動	色や数字、物品など様々な概念獲得に向け、利用者様の特性や能力を観察し、課題の提供を行います。 認知の偏りを把握し、適宜支援を行うことで拘りや忌避感を軽減できるように支援します。 各感覚を刺激し興味の幅を広げることが出来るように支援します。												
	言語コミュニケーション	個別または小集団での障害の特性に応じたの特性に応じた課題を設定し、読み書き能力の向上を図ります。 個別や小集団・集団活動を通じてコミュニケーションの経験を積むことが出来るように支援します。 他者とのやり取りの場を提供し、職員が間に入り援助、支援します。 自己紹介、他己紹介を行うことで理解を深めてコミュニケーション能力の向上を目指します。 気持ちや振り返りを聞くことや日記を書く機会を提供することで、言語化をする練習をします。												
	人間関係社会性	お子様の気持ちに寄り添い個別面談を行うことにより自尊心を高め、認めていきます。 施設内で役割分担を行うことで協同の大切さやルールの理解・集団活動の協調した関わりを持てるように支援します。 職員がモデルケースとなり、他者交流の経験を積むことが出来るように支援します。 集団活動を通して、ルールや順番を守ることや、協調した関わりを持てるように支援します。 他者との適正な距離感を把握が出来るように、適宜声掛けを行い、他者との良好な関係形成を支援します。												
家族支援		連絡帳、送迎時の会話などで随時情報共有をするとともに、必要に応じて面談や、参観する場を設けて、不安や困りごとへの相談援助を行います。						移行支援		学校や関連の医療・福祉施設と情報交換や担当者会議を行い、包括的に支援を行える環境を作り、支援します。				
地域支援・地域連携		地域イベントへの参加や近隣住民との関わりから地域との交流の機会を提供し支援します。						職員の質の向上		●毎日の朝礼の実施 ●毎月の合同の事業所内会議の実施 ●各種社内研修の実施 ●研修会の参加と伝達				
主な行事等		●懇親会												

事業所名

就業支援専門ていーせる つつみ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

15 日

(別添資料 1)

法人（事業所）理念		みんな幸せ												
支援方針		ていーせるに入ったことによって何か小さなことでもしたかったことができるようになって欲しい。 話しかけることが苦手なお子様が自分から話しかけることができるように。 あいさつが出来なかったお子様が自分からあいさつができるように。 時間を守れないお子様が時間を意識して行動ができるように。 ありがとうが言えないお子様が感謝を口にできるように。 そのためには、習慣づけや継続した活動、真摯に向き合うことが大切だと考えております。 お子様を指導してお子様が成長することは勿論のこと、 我々指導員や親御様、関わる全ての方が成長できる場にすることが目標です。												
営業時間		平日	10	時	0	分	19	時	0	分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		休日	9		0		18		0					
		支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	毎利用時に心身の把握・気分把握・身だしなみの確認を行います。その都度必要に応じ保護者へ共有を行います。 お子様に合わせた支援を実施し、習慣化出来るように支援していきます。 身体的、精神的、社会的訓練を行います。												
	運動・感覚	学習や作業・運動支援を通じて姿勢保持・指先トレーニング・上肢・下肢の運動・動作の改善を行います。 支援終了前にラジオ体操や軽い運動を行い、習慣化と動作の改善を行います。												
	認知・行動	色や数字、物品など様々な概念獲得に向け、利用者様の特性や能力を観察し、課題の提供を行います。 認知の偏りを把握し、適宜支援を行うことで拘りや忌避感を軽減できるように支援します。 各感覚を刺激し興味の幅を広げることが出来るように支援します。												
	言語 コミュニケーション	個別または小集団での障害の特性に応じたの特性に応じた課題を設定し、読み書き能力の向上を図ります。 個別や小集団・集団活動を通じてコミュニケーションの経験を積むことが出来るように支援します。 他者とのやり取りの場を提供し、職員が間に入り援助、支援します。 自己紹介、他己紹介を行うことで理解を深めてコミュニケーション能力の向上を目指します。 気持ちや振り返りを聞くことや日記を書く機会を提供することで、言語化をする練習をします。												
	人間関係 社会性	お子様の気持ちに寄り添い個別面談を行うことにより自尊心を高め、認めていきます。 施設内で役割分担を行うことで協同の大切さやルール理解・集団活動の協調した関わりを持てるように支援します。 職員がモデルケースとなり、他者交流の経験を積むことが出来るように支援します。 集団活動を通して、ルールや順番を守ることや、協調した関わりを持てるように支援します。 他者との適正な距離感を把握が出来るように、適宜声掛けを行い、他者との良好な関係形成を支援します。												
家族支援		連絡帳、送迎時の会話などで随時情報共有をするとともに、必要に応じて面談や、参観する場を設けて、不安や困りごとへの相談援助を行います。						移行支援		学校や関連の医療・福祉施設と情報交換や担当者会議を行い、包括的に支援を行える環境を作り、支援します。				
地域支援・地域連携		地域イベントへの参加や近隣住民との関わりから地域との交流の機会を提供し支援します。						職員の質の向上		●毎日の朝礼の実施 ●毎月の合同の事業所内会議の実施 ●各種社内研修の実施 ●研修会の参加と伝達				
主な行事等		●懇親会												